

1960 ~ 2020

©NEURON代表が選ぶ珠玉の映画作品

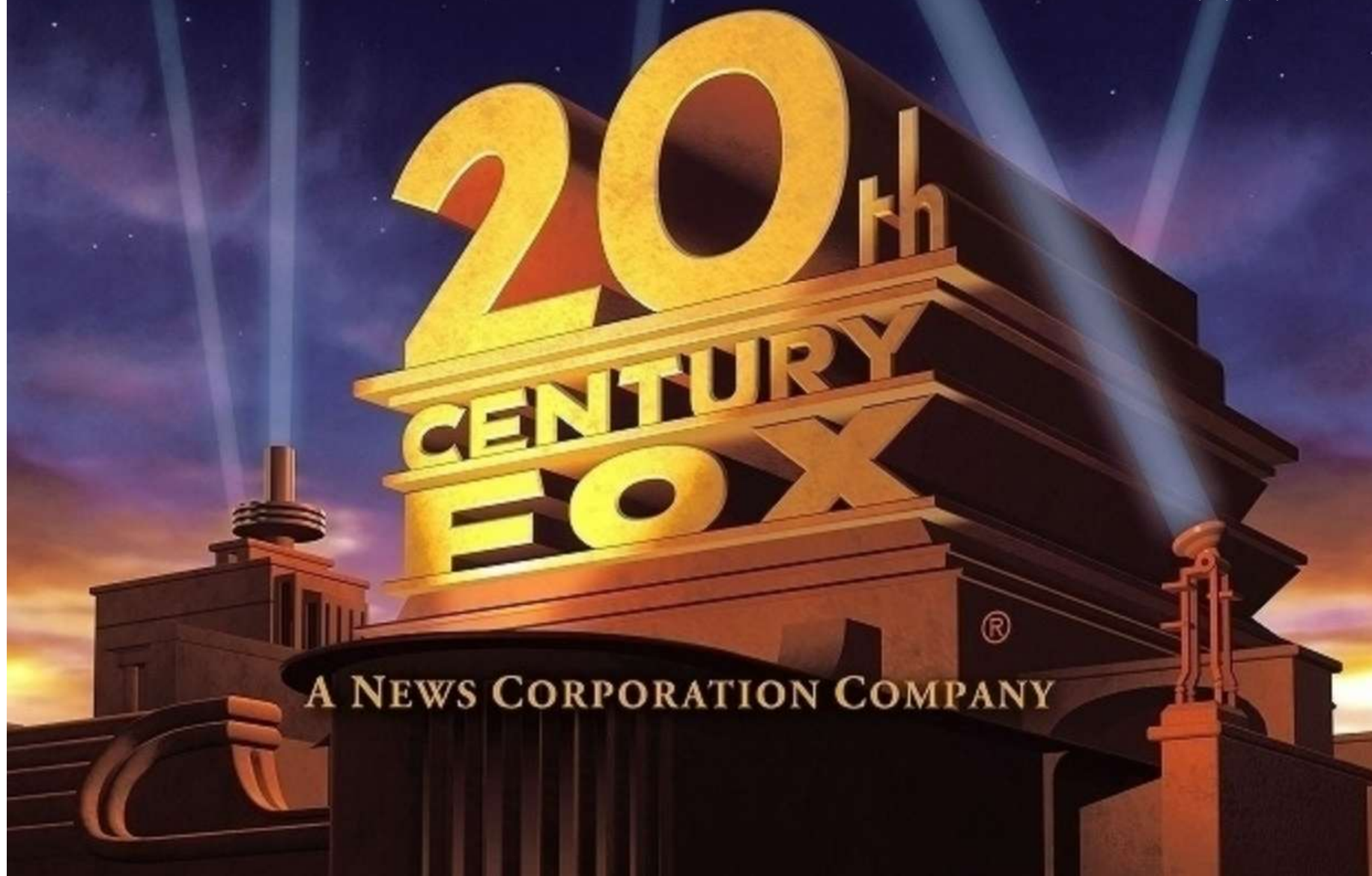
☆殿堂入り3グループ

☆最近観た セレクト

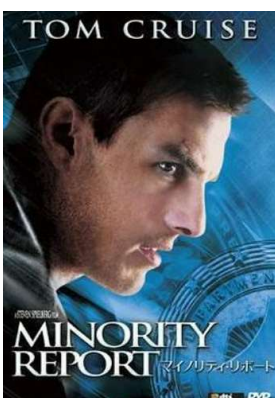
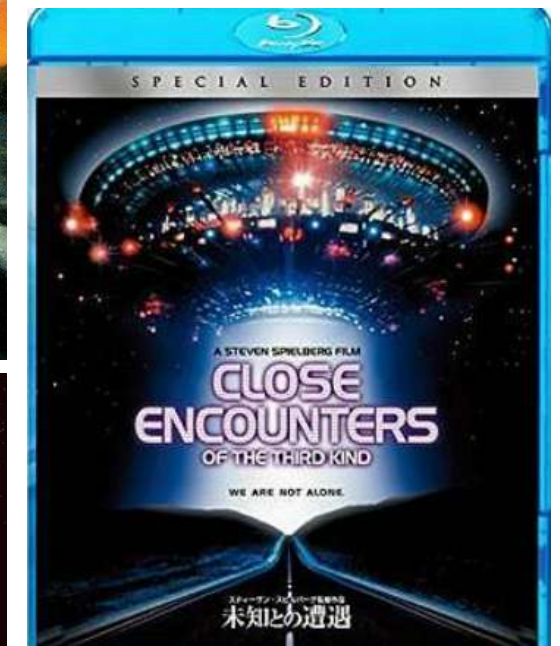
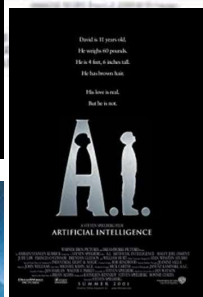
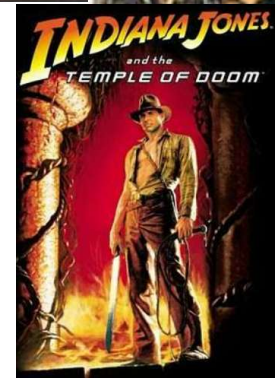
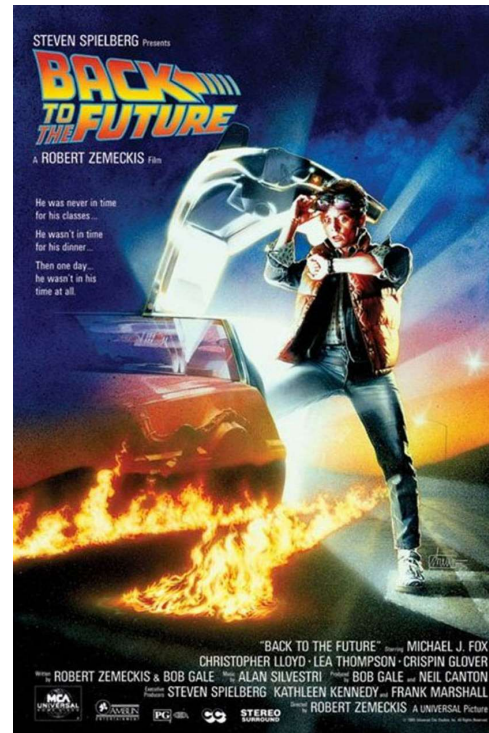
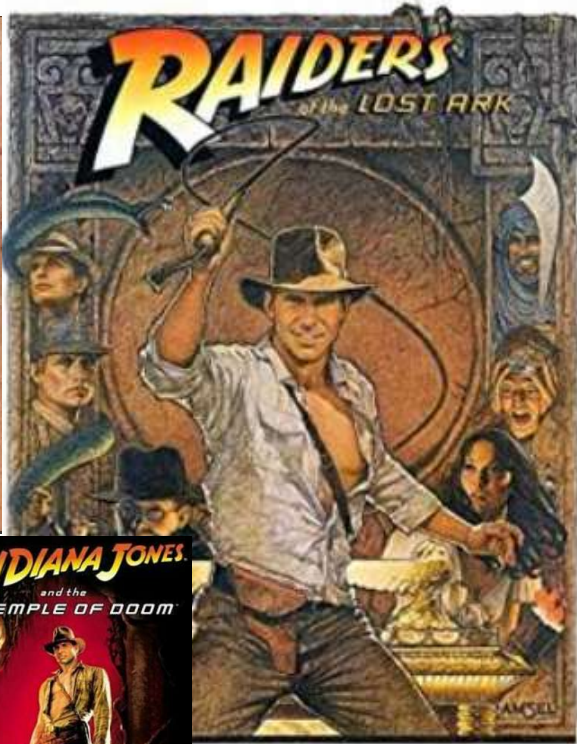
☆邦画ベストセレクト

☆洋画ベスト10

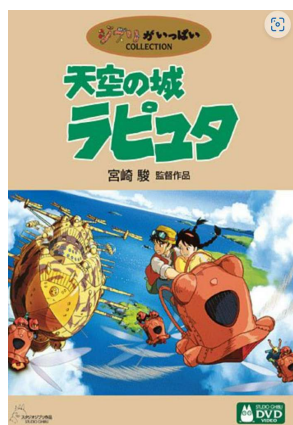
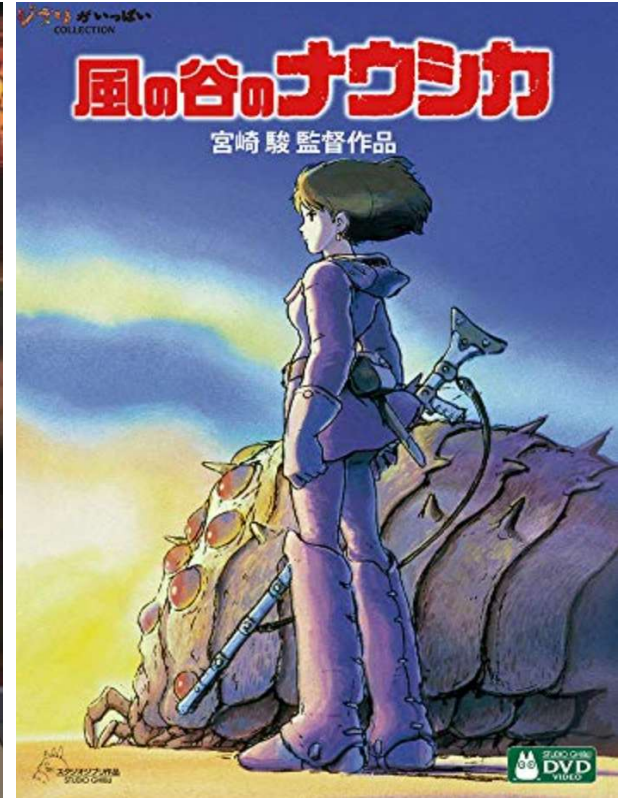
～2024年末現在～



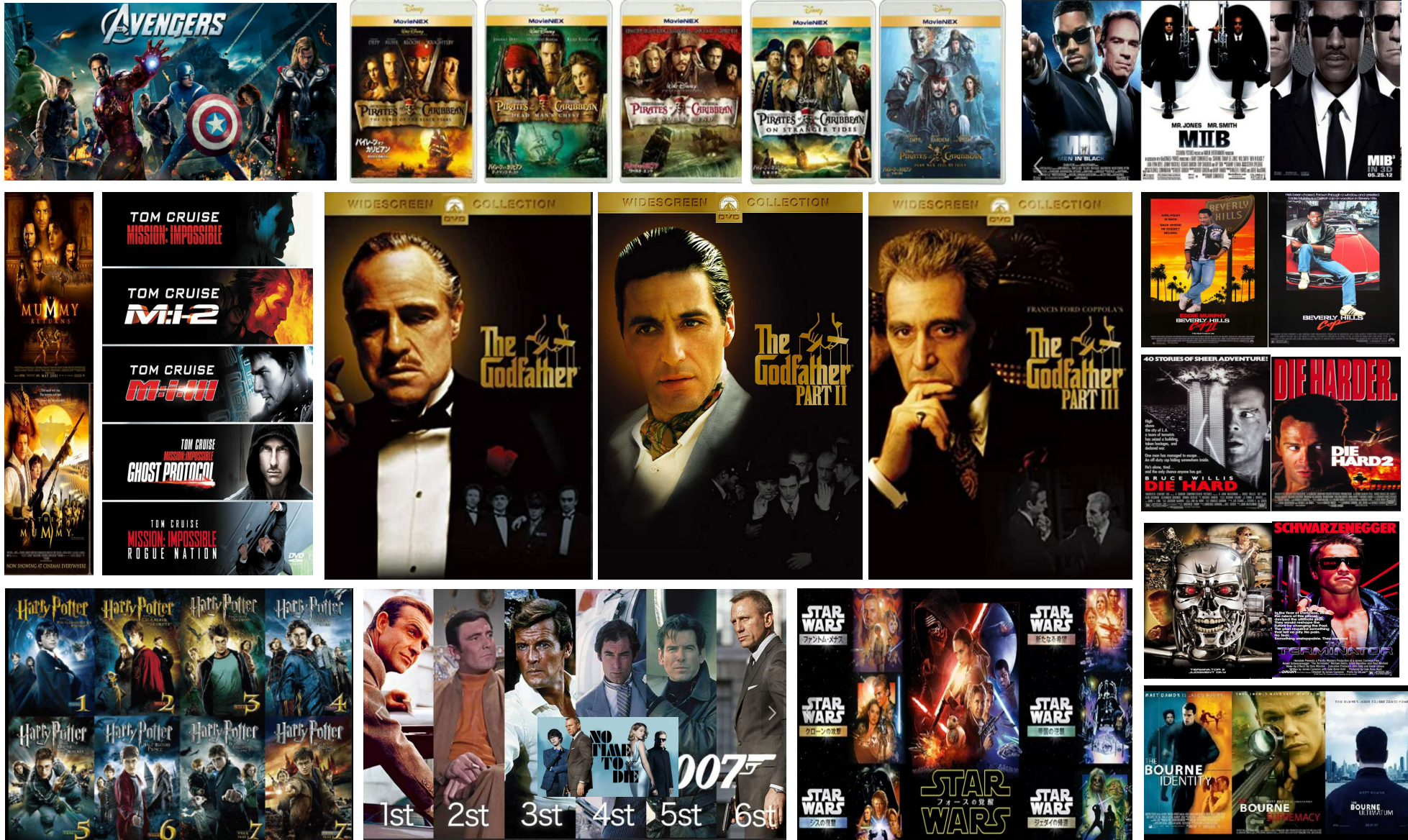
☆殿堂入り1 スピルバーグ作品ベストセレクト



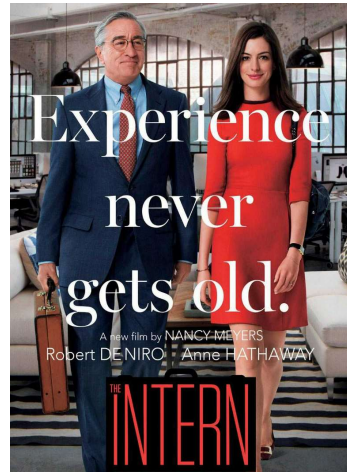
☆殿堂入り2 宮崎駿作品ベストセレクト



殿堂入り3 シリーズ系



☆比較的最近観た洋画からのセレクト【2010～2020】



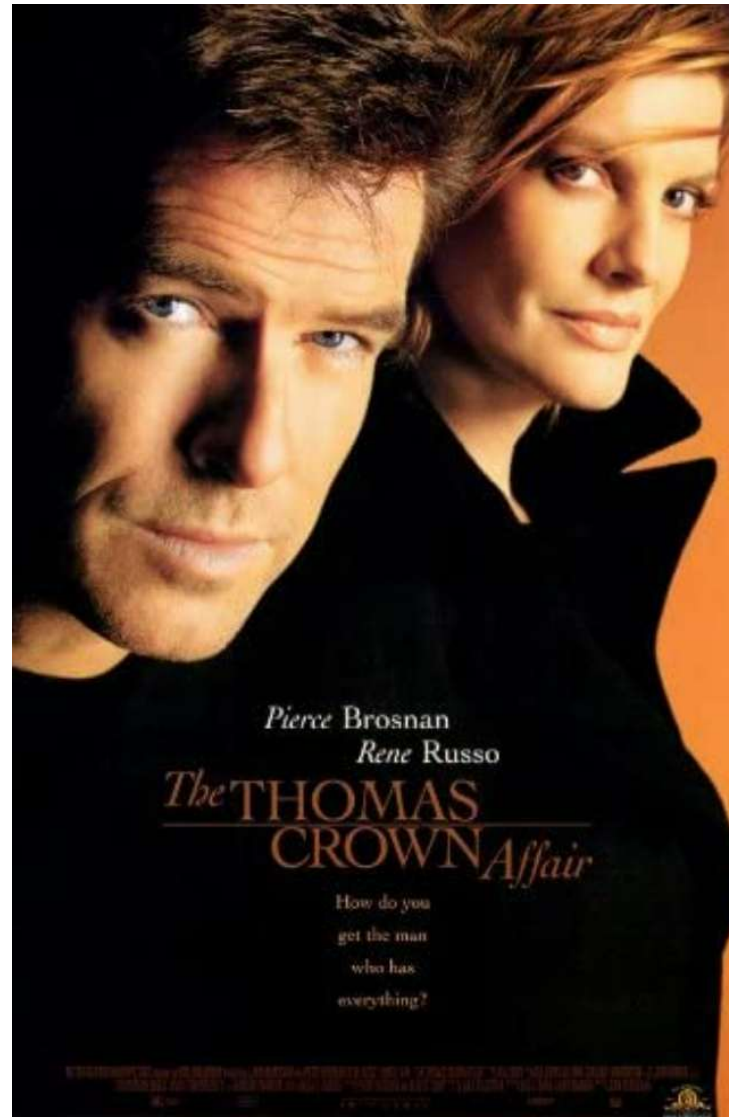
☆NEURON代表が選ぶ 邦画ベストセレクト



～ NEURON代表が選ぶ洋画ベスト10 ～

☆第10位 「トーマス・クラウン・アフェア」

☆『トーマス・クラウン・アフェア』(原題: The Thomas Crown Affair)は、1999年に製作されたアメリカ映画。1968年のスティーブ・マックイーン主演『華麗なる賭け』(原題: The Thomas Crown Affair)のリメイクである。絵画強盗の大富豪と保険会社の女性調査員の危険な駆け引きを描くサスペンス。ラストの飛行機内の場面は、あ、やられた！とおもいました。CAが苦笑、黙認するところが秀逸。



☆第9位 「ノッティングヒルの恋人」

☆『ノッティングヒルの恋人』(ノッティングヒルのこいびと、Notting Hill)は、1999年のイギリスのロマンティック・コメディ映画。ジャー・ミッシェル監督、リチャード・カーティス脚本。出演はジュリア・ロバーツとヒュー・グラントなど。

ロンドン西部のノッティング・ヒルを舞台に、冴えない書店主とハリウッド女優の恋愛を描く、今なおとても人気の高いラブ・ストーリー。



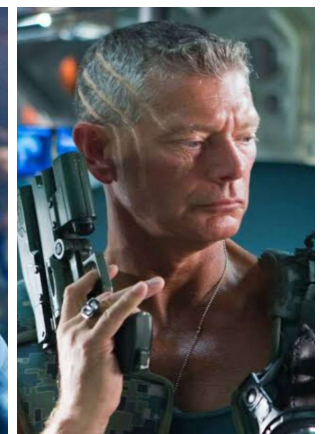
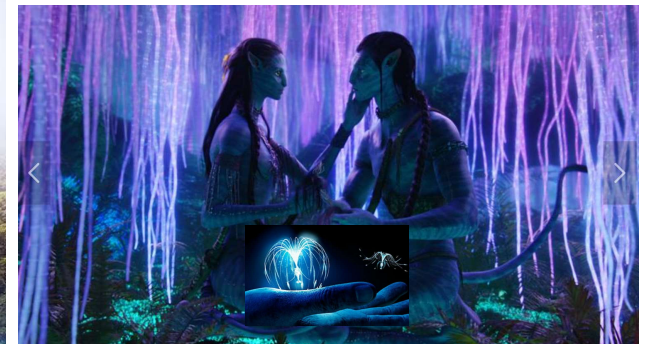
☆第8位 「アバター」

☆『アバター』(原題: Avatar)は、ジェームズ・キャメロンが監督・脚本・製作・共同編集を務めた、2009年のアメリカの叙事詩的SF映画。12年間記録を保持していたキャメロンの『タイタニック』(1997年)を上回り、興行収入世界歴代1位の作品となった。

概要

下半身不随の重傷を追った海兵隊員ジェイク(サム・ワーシントン)は、事故死した双子の兄の代わりに惑星パンドラに派遣される。そこで彼は、神経レベルでリンクする人造の肉体「アバター」を操り、パンドラの原住民と交流、彼らの秘密を探る任務を命じられた。

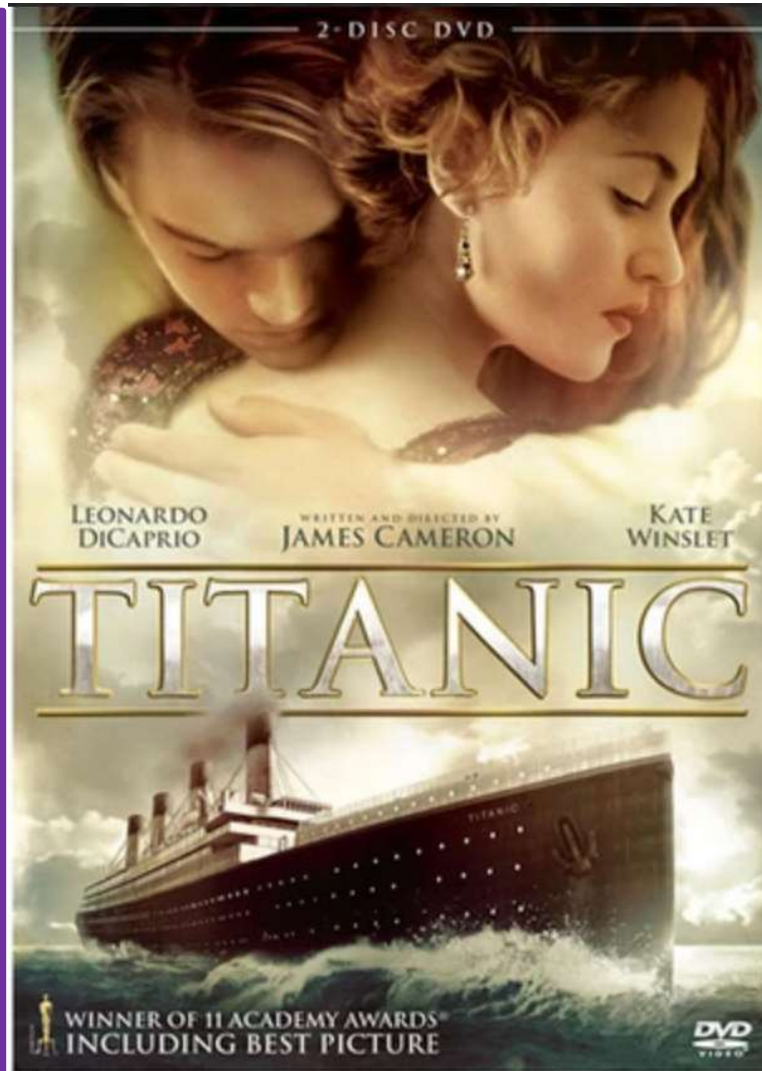
金儲けになる鉱物資源を求めて緑豊かな星の自然破壊を行おうとする地球人と、その星の自然と共に生きる原住民との争いを描き、生態系の調和と自然環境の保護を訴えるメッセージを持ったSF映画である。



☆第7位 「タイタニック」

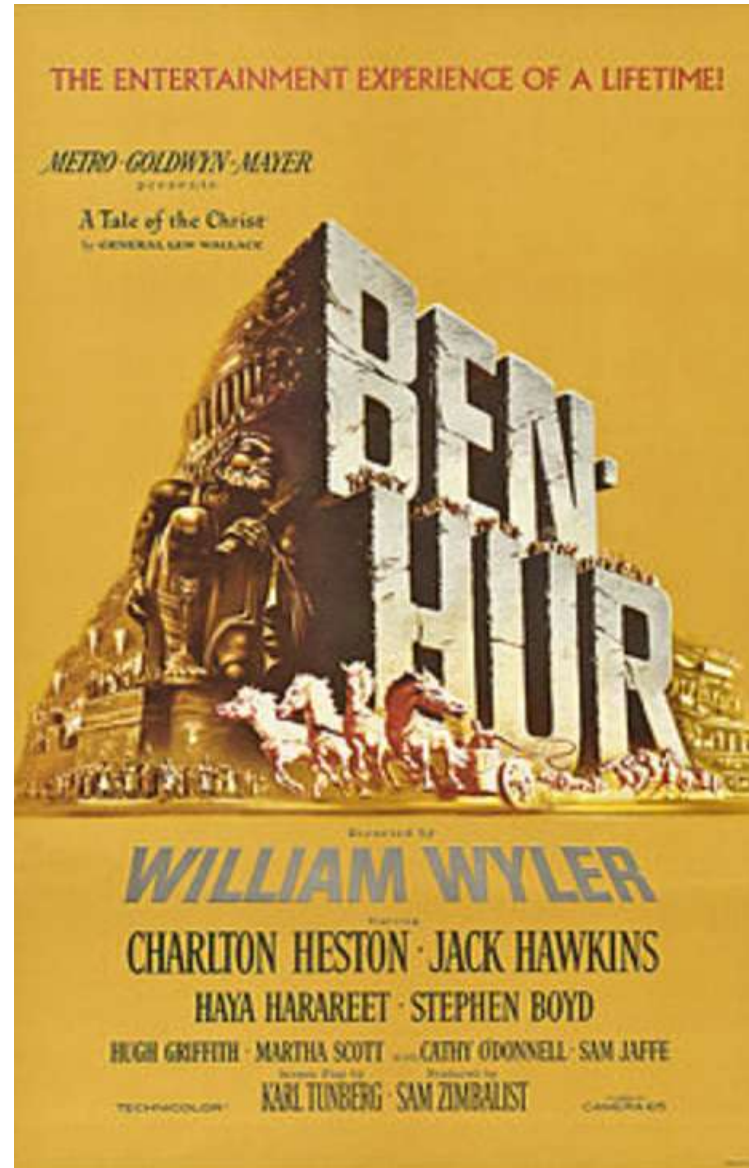
☆『タイタニック』(原題: Titanic) は、ジェームズ・キャメロンが監督・脚本・共同製作・共同編集した、1997年のアメリカ合衆国のロマンス映画。レオナルド・ディカプリオ、ケイト・ウインスレット、ビリー・ゼイン、キャシー・ベイツ、フランシス・フィッシャー、バーナード・ヒル、ジョナサン・ハイドらが出演する。作品賞など11部門でオスカーを獲得し、「ベン・ハー」と並ぶ最多記録を樹立したパニック巨編。

あらすじ・ストーリー 1912年4月12日。画家志望の貧しい青年ジャックと、資産家の婚約者のいるお嬢様ローズは、豪華客船上で出会う。ふたりは激しい恋に落ちるが、14日深夜、運命のときが訪れる。



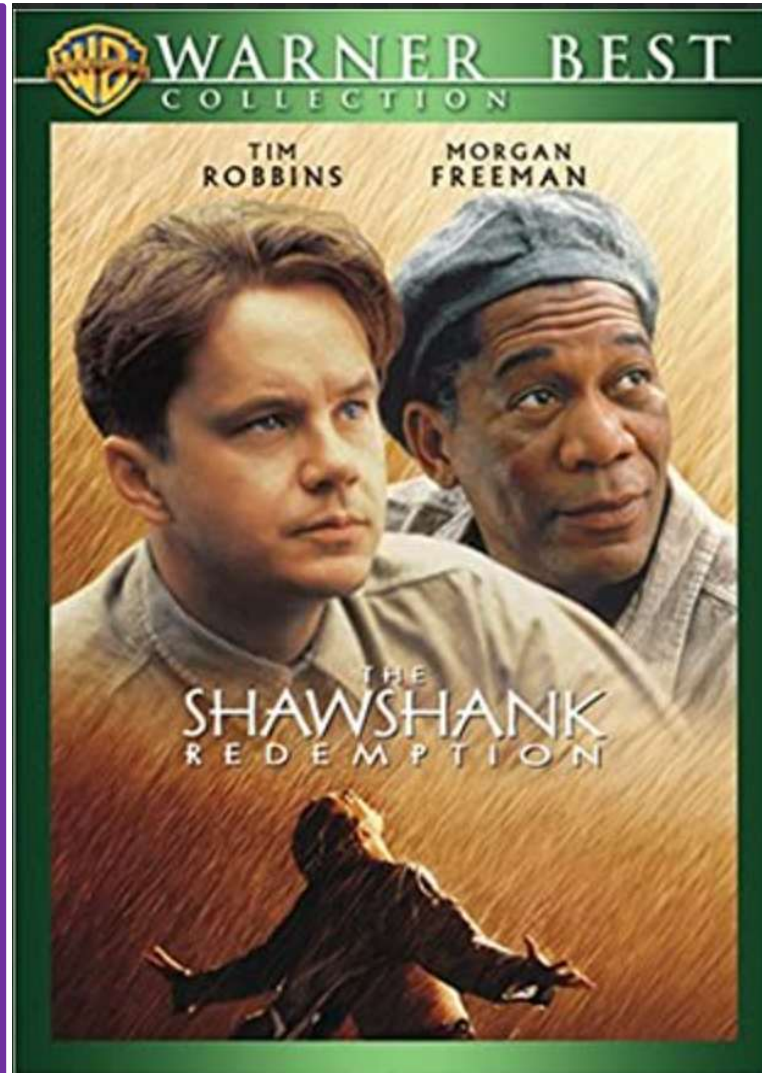
☆第6位 「ベン・ハー」

☆『ベン・ハー』(Ben-Hur: A Tale of the Christ、副題『キリスト物語』)は、アメリカ合衆国の小説家ルー・ウォレスが1880年に発表した長編小説である。架空の物語であるが、イエス・キリストはじめ『新約聖書』に登場する人物たちも作品中に出てくる。この長編小説は1899年に舞台化され、話題になり、何度も上演された[1]。やがて映画の時代が訪れると1907年に最初の映画化がおこなわれた。まだ無声映画の時代だった1925年にフレッド・ニブロが監督し再び映画化され、大ヒットした。その後30余年を経てウィリアム・ワイラーが監督しチャールトン・ヘストンが主演した70ミリ幅のフィルムによるワイドスクリーンの作品が1959年に公開され、大ヒットし、第32回アカデミー賞では作品賞を始めとする11部門で受賞した。



☆第5位 「ショーシャンクの空に」

☆『ショーシャンクの空に』（ショーシャンクのそらに、原題: The Shawshank Redemption）は、1994年に公開されたアメリカ映画。刑務所内の人間関係を通して冤罪によって投獄された有能な銀行員が、腐敗した刑務所の中でも希望を捨てず生き抜いていくヒューマン・ドラマ。原作はステューヴン・キングの小説『刑務所のリタ・ヘイワース（Rita Hayworth and Shawshank Redemption）』。監督・脚本はフランク・ダラボンが務め、主人公の銀行員アンドリュウ・デュフレーン（アンディ）をティム・ロビンス、囚人仲間の調達屋エリス・レディング（レッド）をモーガン・フリーマン、悪徳な刑務所長サミュエル・ノートンをボブ・ガントンが演じた。



☆第4位 「ブレードランナー」

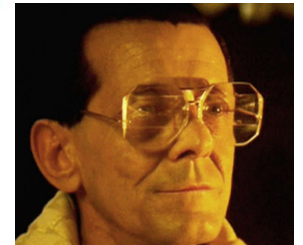
『ブレードランナー』(原題: Blade Runner)は、1982年のアメリカ合衆国のSF映画。

監督はリドリー・スコット、出演はハリソン・フォード、ルトガー・ハウアー、ショーン・ヤングなど。

フィリップ・K・ディックのSF小説『アンドロイドは電気羊の夢を見るか?』を原作としている。

21世紀初頭、遺伝子工学技術の進歩により、タイレル社はロボットに代わるレプリカントと呼ばれる人造人間を発明した。彼らは優れた体力に、創造した科学者と同等の高い知性を持っていた。

彼らには製造から数年経つと感情が芽生え、主人たる人間に反旗を翻す事件が発生する。そんな脱走レプリカント達を判別し見つけ出した上で「解任(抹殺)」する任務を負うのが、警察の専任捜査官「ブレードランナー」である。



☆第3位 「ストリートオブファイヤー」

☆『ストリート・オブ・ファイヤー』
(原題/英題: Streets of Fire)は、
1984年製作のアメリカ映画。スト
リート・オブ・ファイヤー

Streets of Fire

監督 ウォルター・ヒル

脚本 ウォルター・ヒル

製作 ローレンス・ゴードン

ジョエル・シルバー

製作総指揮 ジーン・レヴィ

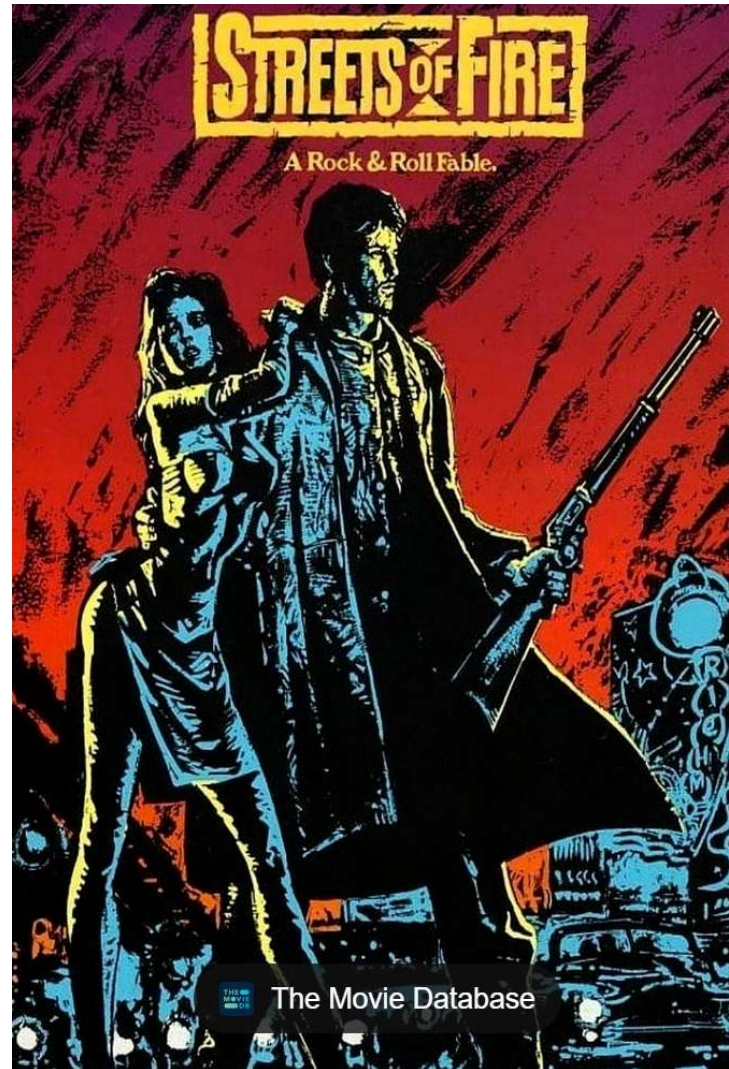
出演者 マイケル・パレ

ダイアン・レイ

ウィレム・デフォー

エイミー・マディガン

西部劇の形式を踏襲したロック映画、アクション映画である。劇中で死者が出ない映画でもある。『キネマ旬報』において、1984年度の「読者選出」外国映画ベストテンの「第1位」に選ばれた。



☆第2位 「ジョーブラックをよろしく」

☆『ジョー・ブラックをよろしく』
(原題: Meet Joe Black)は、1998年のアメリカ映画。
コーヒーショップの青年 / ジョー・ブラック(ブラッド・ピット)
ウィリアム・パリッシュ (アンソニー・ホプキンス)
通称ビル。65歳の誕生日を控えている。
スーザン(クレア・フォーラニ)
ビルの娘。医師。穏やかで、優しく、父のお気に入り。恋愛にはドライで、両親のような情熱的な恋愛はしたことが無い。

スーザンが恋に落ちた青年は、父の命と引き換えに人間界にやってきた死神だった。名優たちが丁寧な演技で魅せる、3時間の上映時間を感じさせない大人のロマンティック・ファンタジー。



お待たせしました！ ☆NEURON代表が選ぶ洋画ベスト10

☆第1位 「刑事ジョンブック～目撃者～」

☆『刑事ジョン・ブック 目撃者』
(けいじジョン・ブック もくげきしゃ、
原題: Witness)は、1985年公開の
アメリカ映画。

監督はピーター・ウイアー。原案・
脚本はウィリアム・ケリー、アール・
W・ウォレス。主演はハリソン・
フォード、ケリー・マクギリス。

概要

タイトル通り殺人事件の「目撃者」
となったアーミッシュの少年とその
母親を守ろうとする刑事の格闘
を描いたサスペンス映画である。
その一方で、キリスト教の非主流
派として非暴力で前近代的な生
活を営むアーミッシュと刑事との
文化的交流や恋愛模様を描いた
ヒューマンドラマとしての色合い
が強いのも特徴的である。

